

# 経営比較分析表

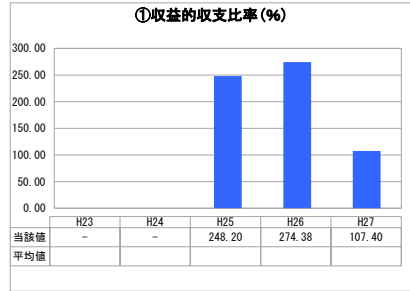
埼玉県 皆野・長瀬上下水道組合

業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法非適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K3
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)
-	該当数値なし	38.80	100.00
1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)			
2,052			

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
-	-	-
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
6,845	88.94	76.96

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
□	平成27年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



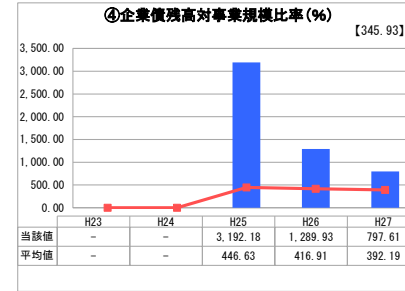
「単年度の収支」



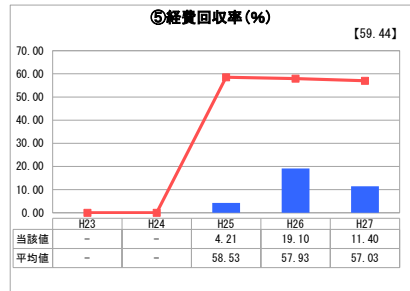
「累積欠損」



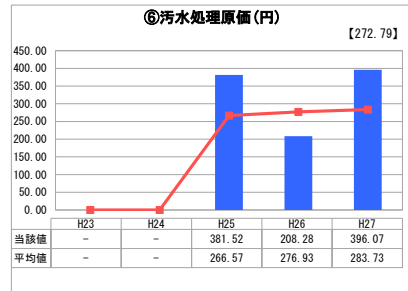
「支払能力」



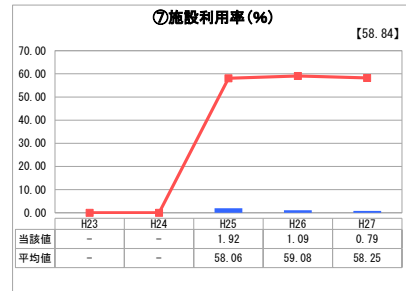
「債務残高」



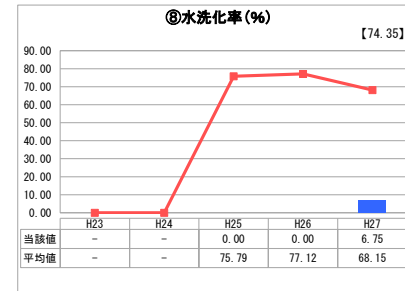
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」

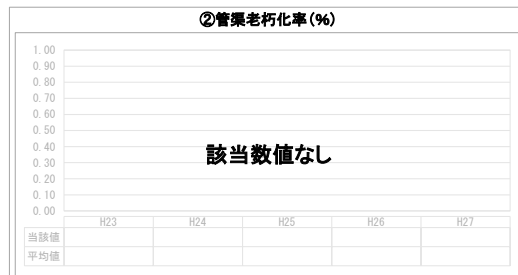


「使用料対象の捕捉」

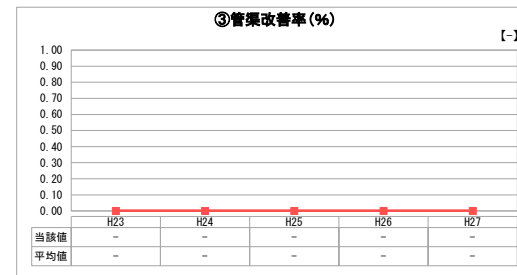
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率は平成27年度に大きく減少したとはいえ依然高い数値ではあるが、企業債残高対事業規模比率が類似団体平均値よりも高い。これは事業が国庫補助金、起債及び構成町からの負担金という使用料以外の収入に依存している事が読み取れます。またいずれの数値も事業開始年度は設置費用がかかって料金収入が遅れてくるため異常値となってしまうが、ここ数年で落ち着きを取り戻しています。

経費回収率も類似団体は数値が大きく乖離してしまっており、投資規模は適正か、料金水準は適切かなどを検討し経営改善していかねばいけないと考えております。

また、施設利用率も低く事業がはじまったばかりということもありますが、これからより多くの人に認知してもらい利用向上を目指す経営戦略が必要であると考えています。

### 2. 老朽化の状況について

該当無し

### 全体総括

当組合では、平成25年度より市町村整備型浄化槽事業が開始されました。まだ事業が開始されてもいないこともあり、設置数、経費回収率などが低い状態にあります。地域の環境保全の為に設置件数を1件でも多く合併浄化槽の設置していただけるように職員全員で普及活動とっておこなっていききたいと思います。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。